

# お知らせします 村の家計簿

村の平成二十年度の決算がまとまり、九月下旬に行われた村議会定例会で認定されました。村では、厳しい財政状況の中、「第三紀村振興計画」に基づき、「まめな暮らしを生かした村づくり」を基本理念に、四つの基本施策を展開する事業を進めてきました。これらの基本施策を盛り込んだ平成二十年度の歳出（支出）決算額は、一般会計が二十八億九千四百二十四万円、特別会計が十三億二千四百五十万円、全会計合わせて四十二億四千六百九十九万円となりました。今月号は、平成二十年度決算のあらましをお知らせします。



## 一般会計

平成二十年度の一般会計決算額は、歳入（収入）総額三十二億千六百九十五万円、歳出（支出）総額二十八億九千四百二十四万円、歳入歳出差引額が三億二千二百七十一万円の黒字となりました。

## 【歳入】

歳入は、前年度と比較すると二億六千六十万円となりました。

自主財源の主なものはみなさんに納めていただく「村税」（村民税・固定資産税・軽自動車税・村たばこ税・入湯税）で、前年度に比べ五百五十一万円（二・〇％）増の二億八千七百二十四万円となりました。また、さまざまな基金からの繰入金は前年度に比べ千四百七十一万円（八・九％）減の一億五千三十六万円となり、自主財源の中で村税に次ぐ割合を占めました。

## ■会計決算の状況

会計別	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	32億1,695万3千円	28億9,424万円	3億2,271万3千円
特別会計	13億7,879万円	13億2,045万7千円	5,833万6千円
国民健康保険	5億3,782万1千円	5億1,230万円	2,552万1千円
健康保険直診助定	9,307万1千円	8,864万1千円	443万円
老人保健	7,598万2千円	7,538万6千円	59万6千円
簡易水道事業	1億1,495万1千円	1億1,228万4千円	266万7千円
村営バス事業	1,111万9千円	1,043万円	68万9千円
集落排水事業	3,223万1千円	3,116万円	107万1千円
介護保険	3億2,149万円	3億252万7千円	1,896万3千円
交流施設	2,169万2千円	1,901万1千円	268万1千円
学校給食センター	1億3,828万2千円	1億3,659万9千円	168万3千円
後期高齢者医療	3,215万4千円	3,211万9千円	3万5千円
決算総額	45億9,574万6千円	42億1,469万7千円	3億8,104万9千円

## ■一般会計歳入決算の状況

区分	決算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
自主財源	5億9,493万9千円	18.5	△2,694万9千円	△4.3
村税	2億8,724万9千円	8.9	551万8千円	2.0
繰入金	1億5,036万8千円	4.7	△1,471万9千円	△8.9
繰越金	6,001万4千円	1.9	△463万4千円	△7.2
諸収入	3,569万9千円	1.1	532万7千円	17.5
その他①	6,160万9千円	1.9	△1,844万1千円	△1.9
依存財源	26億2,201万4千円	81.5	2億4,062万円	10.1
地方交付税	15億8,934万1千円	49.4	3,871万5千円	2.5
村債	2億6,060万円	8.1	1,120万円	4.5
県支出金	2億7,997万円	8.7	△792万1千円	△2.8
国庫支出金	3億8,721万1千円	12.0	2億506万6千円	112.6
その他②	1億489万2千円	3.3	△644万円	△5.8
計	32億1,695万3千円	100.0	2億1,367万1千円	7.1

※その他①=使用料手数料、財産収入、寄附金、分担金及び負担金/その他②=地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特別交付金、利子割交付金、交通安全対策特別交付金、株式譲渡所得割交付金、配当割交付金

## ■一般会計目的別歳出決算の状況

区分	決算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
民生費	6億3,676万9千円	22.0	1億1,232万4千円	21.4
総務費	6億2,374万3千円	21.6	△884万6千円	△1.4
農林水産業費	4億4,013万4千円	15.2	4,310万8千円	10.9
公債費	3億8,505万5千円	13.3	△1,830万3千円	△4.5
衛生費	2億3,213万3千円	8.0	△60万7千円	△0.3
教育費	2億719万8千円	7.2	△842万3千円	△3.9
土木費	1億7,147万6千円	5.9	△5,377万2千円	△23.9
消防費	1億878万5千円	3.8	△178万6千円	△1.6
議会費	4,765万円	1.6	174万5千円	3.8
商工費	3,170万3千円	1.1	430万円	1.4
その他	959万5千円	0.3	△1億1,489万7千円	△92.3
計	28億9,424万円	100.0	△4,902万8千円	△1.7

※その他=労働費、災害復旧費

## ■一般会計性質別歳出決算の状況

区分	決算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
人件費	6億6,274万6千円	22.9	679万5千円	1.0
普通建設事業費	5億1,013万6千円	17.6	1億8,224万4千円	55.6
補助費等	3億9,191万3千円	13.5	1,628万円	4.3
公債費	3億8,505万5千円	13.3	△1,830万3千円	△4.5
繰出金	2億8,164万9千円	9.7	△1,601万6千円	△5.4
物件費	2億6,723万6千円	9.2	△789万6千円	△2.9
積立金	2億221万8千円	7.0	△9,683万3千円	△32.4
扶助費	1億6,205万1千円	5.6	△426万6千円	△2.6
その他	3,123万6千円	1.2	△1億1,103万3千円	△78.0
計	28億9,424万円	100.0	△4,902万8千円	△1.7

※その他=災害復旧費、維持補修費、投資及び出資金・貸付金

## 【歳出】

歳出は、前年度に比べ全体で四千九百二十万円（二・七％）の減少となりました。

目的別歳出のトップは、民生費の六億三千六百七十六万円（支出全体の二十二・〇％）。次いで総務費の六億二千三百七十四万円（同二十一・六％）、農林水産業費の四億四千三万円（同十五・二％）となりました。性質別では、人件費が六億六千二百七十四万円（支出全体の二十二・

億千三百六十七万円（七・一％）の増加となりました。歳入は、その性質から「依存財源」（国や県から入ってくるお金と「自主財源」（村が自分の手で確保できるお金）に分けられます。依存財源で大半を占めるのは「地方交付税」で、十五億八千九百三十四万円となり、前年に比べ三千八百七十一万円（二・五％）の増加となりました。また、大きな事業を行う場

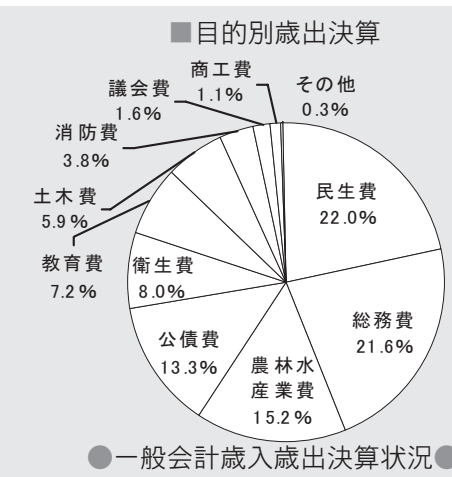
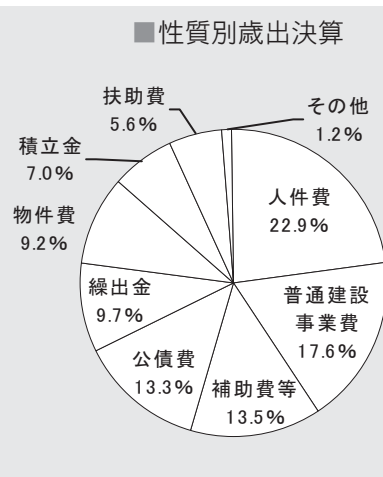
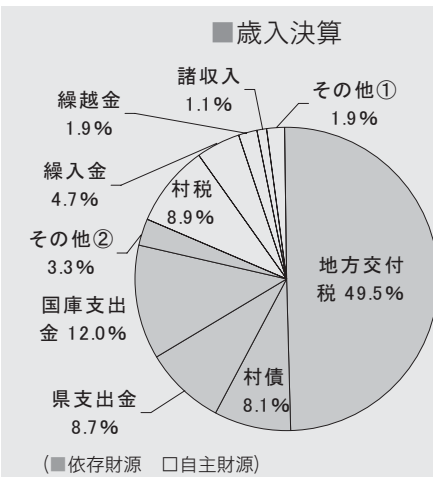
合には、国や県から補助金をもらいますが、平成二十年度は、県支出金は、前年に比べ七百九十九万二千円（二・八％）減の二億七千九百九十七万円、国庫支出金は、前年に比べ二億五百六十六万二千円（二・六％）増の三億八千七百二十一万円が村に交付されました。さらに、「村債」（村が事業を行うために借り入れたお金）は前年度に比べ千二百二十万円（四・五％）増の

九％でトップとなり、普通建設事業費の五億千十三万円（同十七・六％）、補助費の三億九千九百九十一万円（十三・五％）と続きます。平成二十年度に行った主な事業については、四・五ページをご覧ください。

## 特別会計

「特別会計」とは、特定の事業を特定の収入で行うために、予算を分けて、独立して設けた会計をい

います。平成二十年度の特別会計決算額の総額は、歳入が十三億七千八百七十九万円、前年度に比べ三億三千八百八十二万円（十九・七％）の減となりました。また、歳出は十三億二千四百五十万円（十九・六％）に比べ三億二千百万円（十九・六％）の減となりました。



●一般会計歳入歳出決算状況●

# 全会計合わせて42億円を支出

【対前年度比3億7,002万9千円(8.1%)減】



主な事業概要④	主な事業概要③
<p>＜農村の人づくりと産業ビジョン＞</p> <p>地域から世界を見ることができ、人材を育成し、消費者と生産者の密接な関係を構築する村の実現</p> <p>【学校教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小・中学校基礎学力向上推進事業(学力診断テスト)に 35万円</li> <li>●鮫川小・中学校コンピュータ借料に 220万円</li> <li>●鮫川中学校修学旅行助成金として 104万円</li> <li>●語学指導を行う外国青年招致事業に 440万円</li> <li>●スクールバス運行のために(小学校2台、中学校4台) 1,356万円</li> <li>●学校給食センター運営のために 3,251万円</li> </ul> <p>【安心安全、顔の見える農業の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●水田作付条件整備事業(暗渠排水22人) 224万円</li> <li>●飼料作物栽培の省力化・合理化のために(生産コスト削減支援対策事業) 120万円</li> <li>●肉用牛生産振興事業に(市場運搬経費、ヘルパー経費補助) 165万円</li> <li>●優良牛整備増殖事業に(優良和牛基礎雌牛導入補助) 115万円</li> <li>●畜産輸入飼料高騰緊急対策事業のために 188万円</li> </ul> <p>【ふるさとの森を守り育てる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●松くい虫防除事業のために 409万円</li> <li>●治山事業のために(6地区) 1,227万円</li> </ul> <p>【商工業の振興、雇用機会の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●商工業振興事業のために(商工会補助、プレミアム商品券発行など) 574万円</li> <li>●事業所の福利厚生などのために 10万円</li> <li>●経済対策による雇用の創出・就業機会の提供のために 361万円</li> </ul> <p>【村の特徴を活かした観光の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●高原の鮫川うまいもの祭りのために 170万円</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国土調査のために 3,333万円</li> <li>●議会運営のために 4,764万円</li> <li>●図書館運営として 851万円</li> <li>●村の借入金返済のために 3億8,505万円</li> <li>●地方振興費(各行政区への補助金) 249万円</li> <li>●区長・副区長・行政連絡員報酬として 1,046万円</li> </ul>	<p>＜農村の暮らしビジョン＞</p> <p>みんなが安心して生活できる村の実現</p> <p>【安心生活ができる公共交通づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●生活バス路線運行のために(福島交通バス運行補助金および村営バス特別会計繰出金) 1,369万円</li> </ul> <p>【多様な暮らしの工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●携帯電話通話地域拡大のため(名下地内) 5,664万円</li> <li>●高度情報化事業に(白河広域ネットワーク負担金など) 1,369万円</li> <li>●水口定住促進住宅整備のために(2棟4戸) 4,447万円</li> <li>●茅定住促進住宅整備のために 674万円</li> </ul> <p>【火災と災害への備え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小型動力ポンプ(2台)購入のために 304万円</li> <li>●白河地方広域市町村圏整備組合常備消防費負担金として 7,589万円</li> </ul> <p>【安心生活ができる保険・医療・福祉の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●住民健康診査のために(各種がん検診含む) 801万円</li> </ul> <p>【安心生活ができる高齢者の保健と福祉の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者総合福祉センター(ひだまり荘)運営のために 965万円</li> <li>●さざり荘運営のために 1,242万円</li> <li>●高齢者筋力づくり教室のために 333万円</li> <li>●高齢者インフルエンザ予防接種のために 175万円</li> <li>●高齢者生活支援事業のために(緊急通報システム借料、紙おむつ給付) 387万円</li> <li>●介護老人福祉施設整備のために(旧西山小学校改修) 1億4,000万円</li> </ul> <p>【子育て支援体制づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●保育園・こどもセンター運営のために 1億3,239万円</li> <li>●乳幼児医療費助成のために 651万円</li> <li>●妊婦一般健康診査のために 224万円</li> <li>●妊産婦医療費助成(社保分)のために 45万円</li> <li>●幼稚園運営費として 2,433万円</li> <li>●放課後児童クラブ運営のために 190万円</li> <li>●児童手当のために 3,155万円</li> </ul> <p>【障害者の支援体制づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●障害者自立支援給付のために 5,992万円</li> <li>●重度心身障害者医療費扶助のために 1,046万円</li> </ul>

主な事業概要②	主な事業概要①
<p>＜農村の環境ビジョン＞</p> <p>自然や動植物と共存し、農村環境を創る村の実現</p> <p>【道路網・道路環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●林道整備のために(整備3路線、維持補修8路線) 4,500万円</li> <li>●村道維持補修(20か所)のために 221万円</li> <li>●村道改良のために(3路線) 5,478万円</li> <li>●道路付属施設等環境美化事業(道路除草)に 406万円</li> <li>●県営農道整備事業負担金として(東野中部地区農免農道) 433万円</li> </ul> <p>【水を大切に、環境に配慮した排水の処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●合併処理浄化槽設置費補助のために(11基) 641万円</li> <li>●集落排水事業のために(集落排水事業特別会計繰出金) 2,135万円</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●東白衛生組合運営費負担金として 7,145万円</li> </ul>	<p>＜農村の再生ビジョン＞</p> <p>独自の優れた資源を発見し、みんなで知恵を出し、心豊かに暮らし続けられる村の実現</p> <p>【環境と健康を食べる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●農産物加工・直売所事業のために(施設管理、運営費補助) 1,058万円</li> <li>●大豆による元気づくり事業に(特産品開発、アイディア料理コンテスト、食育推進など) 60万円</li> <li>●かぼちゃの振興と特産品の開発事業に 693万円</li> <li>●エゴマ鶏実験飼育・特産品開発事業に 314万円</li> </ul> <p>【農村の景観と文化を生かす】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●館山公園整備事業のために 476万円</li> <li>●中山間地域等直接支払交付金として 1億2,276万円</li> </ul> <p>【災害復旧】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●公共土木施設災害復旧のために(19年度発生災…道路5か所) 586万円</li> </ul>



郷土料理を楽しむ会



特別養護老人ホームさめがわ



水口定住促進住宅

村民1人当たりに使われるお金は**686,164円**(△72円)です。

一般会計歳出予算額÷平成21年3月31日現在の人口4,218人で計算。  
〔( )内は対前年比。平成19年度は平成20年3月31日現在の人口4,289人で計算。〕

民生費	高齢者や子ども、障害者などの福祉のためのお金	150,965円 (28,688円)
総務費	選挙、戸籍、徴税、広報紙発行などのためのお金	147,876円 (385円)
農林水産業費	農林業の振興や農林道の整備などのためのお金	104,347円 (11,778円)
公債費	地方債(村の借入金)を返済するためのお金	91,288円 (△2,757円)
衛生費	保健事業や予防接種、環境衛生などのためのお金	55,034円 (770円)
教育費	学校教育や生涯学習、体育振興などのためのお金	49,122円 (△1,151円)
土木費	道路や橋、住宅を整備・維持するためのお金	40,653円 (△11,865円)
消防費	消防施設の整備や消防団活動のためのお金	25,791円 (11円)
議会費	村議会運営のためのお金	11,297円 (△2,029円)
その他	商工業の振興、災害復旧などのためのお金	9,791円 (△26,526円)